

---

# 【何番煎じ?】アイマス×パワフルプロ野球

成02

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

【何番煎じ?】アイマス×パワフルプロ野球

### 【Nコード】

N1616BA

### 【作者名】

成02

### 【あらすじ】

765プロのアイドルがなんとプロ野球の選手として出ること！？16球団となった日本プロ野球を舞台に、876プロまで参戦したアイドルたちとパワプロシリーズで出た選手たちは躍動することが出来るか！？

そして、優勝、日本一の称号を得るチームはどこか、今、負けられない戦いが始まる…

初投稿作品となるとともに、連載小説となります…っでどこまで続くのか  
既に動画や小説でもあがってますように、アイマス×野球は多くの  
方々がやられてますが、  
その中でも面白いと思われる作品にしたいと思しますので、どうぞ  
よろしくおねがいします。

## プロローグ く始まりの確認

秋風は既に冬の風となり、寒さが厳しい日が続いた11月

都内某所、とある雑居ビル…その一室に、3人の男がある会議をしていた。

「だからこそ、この企画をやるべきじゃないでしょうか！」

長く、威勢良く話した一人目は、外見からして大学を卒業して間もなく、いかにもスポーツが好きそうな感じのする男。

「でも、大丈夫なのか？万が一怪我したら…」

心配するように聞いた二人目は、眼鏡を掛け、一人目の男と同年ぐらいだが、ちょっと頭の回る感じのする男。

「仮にこちらがよくとも、相手側は良いのかね…？」

そして、最後に訊ねた三人目の男は、その建物の一角に芸能事務所をかまえ、二人の若い男をプロデューサーとして雇っている。76  
5プロ社長、高木順一郎である。

「はいっそれは各所に連絡し、承諾さえ取ることが出来れば大丈夫

ですっ  
」

と一旦区切り

「彼女らには実績があります。それはどこも知ってるはずですよ」

そしてもう一度、一人目の男改め、プロデューサーは質問に対し、  
威勢良く答えたのであった。

「そうか……よしわかった。やってみようじゃないか」

物事は何事も、大体は初めはこの言葉から始まるのだ。

そしてそれが、彼女たち、そして野球ファンに残るプロジェクトに  
なったことは、この時点では誰も予知していなかったであろう。  
立案者であるプロデューサーも含めて

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1616ba/>

---

【何番煎じ？】アイマス×パワフルプロ野球

2012年1月4日06時45分発行